

コロナ禍、今年度も皆さまのご理解・ご協力のおかげで元気に集いあうことができ、「親と子のひろば」を開催できたこと嬉しく思います。今年度最後の「親と子のひろば」の様子をお伝えします。



## 学生さんの子どもたちへの思い



2年生の学生さんが、ボールプールと的あて箱を計画し、準備してくれました。

子どもたちは初め、学生さんが「一緒に遊ぼう」と声をかけても、見ている様子ですが、Iちゃんが風船で楽しく遊び始めると、楽しさに気づき、遊びに加わる子どもたちが増えてきました。的あてでは、子どもたちが、大好きなアンパンマンの絵を描いた箱とボール入れの2つを置き、子どもたちに風船やボールを入れて遊んでもらえるように考えてくれました。



子どもたちは、風船が、割れないように優しく握ってみたり、小さなボールに持ちなおしたりと、それぞれ触って色々試しながら遊んでいるようでした。プールの中に入り、全身で思いっきり楽しむ姿が見られました。風船が割れてしまうのではないかと心配がありましたが、学生さんの風船が割れないようにと膨らませすぎない大きさにした工夫のおかげで、無事に一つも割れることなく楽しむことができました。

学生さんが色々計画を立て、実践し、子どもたちが、実際に遊ぶ様子に沢山の学びがあったのではないのでしょうか。

## 夢中になる遊び



学生さんが、身近な新聞紙を使って、子どもたちが夢中になる遊びを考えてくれました。子どもたちも新聞紙をちぎったり、丸めたり、新聞のお風呂に入ってみたりと全身で遊びを楽しむ姿が見られました。

「新聞のシャワー」と上から新聞紙を降らせて遊ぶのも大喜びでした。



新聞紙プールの中から、サツマイモやキノコ等を発見。子どもたちは、わくわくした表情で「他には何があるのかな」と宝探しゲームを楽しみました。自分が大好きなぬいぐるみを新聞紙の中に入れて、探すなど遊びの広がりが見られました。保護者の方からは、「家では散らかって、なかなか遊べないので、子どもが楽しく遊ぶ姿が見られて嬉しいです」との話を頂きました。

新聞紙をくしゃと握ったり、破いたりと手を使った感覚遊びや音を楽しむことができ、寒い冬の室内遊びで、五感を使ってダイナミックに遊べる新聞遊びはいいですね。

親と子のひろばが、子ども達にとって自分でやってみたいという気持ちを大切にしたい、じっくりと遊べる居場所になり、楽しむ姿を引き出せる環境になれたらと願っています。

学生さんやスタッフも子どもたちが今何に関心を持ち、どんなふう楽しんでいるのか、様子を丁寧に見守り、子どもたちの思いに寄り添うことに努めています。

## 野菜収穫体験

庭プロジェクトのメンバーが、子どもたちとの野菜の収穫を計画してくれました。庭にはカブ、大根、茄子、トマトが植えられていました。学生さんは子どもたち一人一人に「どの野菜にする?」と声をかけながら、子どもたちに寄り添い収穫する姿が見られました。葉っぱの下に大きな大根や株がなっていて、自分で抜いた野菜に大喜びでした。



収穫した野菜を大切に洗い、大根を見つめて「虫は付いてないね。」と話してくれたM君。

初めK君は、M君の様子をじっと見つめていましたが、たらいの中に手を入れ、水の「ピチャピチャ」という音や水がはじくことにとっても夢中になり、何度も繰り返していました。満面の笑みを見せてくれましたね。水の冷たさや音等水の魅力を発見できたかな?



学生さんがひろばの最後に「やさい」の絵本を読んできました。

学生さんが絵本を見ながら「みんなで、お外で採った大根だね」と声をかけると、絵本を指さして喜びを表現してくれる子どもたち。

秋晴れの中、野菜の収穫を体験して、みんなで楽しいひとときを過ごすことができました。

自然の中で、子どもたちはさまざまなことを感じ取ったのではないのでしょうか。

聞こえる音や感触等五感を大切にしていきたいですね。

## 楽しい時間の共有



ハロウィーンを楽しもうと、学生さんがかぼちゃおばけのペープサートを演じてくれました。かぼちゃのおばけから、子どもたちが大好きなうさぎやこあら等動物がでてきて、子どもたちは大喜びでした。

学生さんは、参加する子どもたちの年齢を考え、動物を当ててもらうのではなく「おいで♪おいで♪パンダ♪」の手遊び歌に合わせて演じるなど工夫をして演じたようです。子どもたち、保護者の皆さんで手遊びを真似したりと、盛り上がりました。



学生さんと一緒にパネルシアター「明日天気になあれ」を演じました。

動物たちが、自分にぴったりの靴を選び「明日天気になあれ♪」の歌に合わせてお天気占いをするお話です。

子どもたちも「ぞうさんにはどのくつかな？」など興味津々。みんなで楽しい時間を共有しました。

学生さんは、「初めて保護者の方の前で演じて緊張しましたが、貴重な経験ができました」と話していました。

子どもは、ワクワクする場所やものが大好きですね。親と子のひろばでは、子どもたちに楽しい時間を過ごしてもらえたらと大型絵本や紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター等をしています。

自宅でも眠る前の15分など絵本等を通して、親子の幸せなひと時を感じてもらえたら嬉しいです



## 秋を感じて

10月下旬頃、秋が深まり葉っぱが緑色、黄色、赤色へと変化し、ひろばの庭にも落ち葉が沢山落ちていました。落ち葉を使って、秋を感じてもらえたらと落ち葉の写し絵を考えました。



「葉っぱの裏側の方が、葉っぱの葉脈が出て綺麗ですね。親がしてもおもしろいですね。」と保護者の方からお話を頂き、葉っぱに顔を書いたり親子で葉っぱのアートを楽しまれている姿が見られました。葉っぱの上に薄紙をのせて、クレヨンでこすると、きれいな落ち葉の絵が完成。落ち葉に顔や模様を描いても面白いので、ぜひ自宅でも試してみてくださいね。

## 子どもたちの笑顔・成長



フローリングになり、明るい雰囲気になった保育室。子どもたちは、滑りにくいように裸足になって思いっきり遊べるようになりました。今までハイハイしていた子どもたちも、自分で歩けるようになり、走れるようになる等子どもたちの成長を近くで見守ることができ、とても幸せを感じます。



小さい子どもたちが、大きいお兄さんたちの遊ぶ様子を見て、「楽しそう。こんなこともお兄さんになったらできるのかな。やってみたいな」と良い刺激を受けたりできるのもひろばの良いところかなと思います。

学生さんに温かく見守られ、一緒に遊ぶ中に子どもたちの遊びが広がりますね。

異年齢児、学生さんとの遊びを通して、子どもたちの豊かな成長につながってもらえたらと願っています。

## スタッフから皆さんへ

コロナ禍ではありましたが、今年度も沢山の皆さんに親と子のひろばにご参加頂き、心から感謝しています。

今年度新しいスタートに不安な気持ちもありましたが、試行錯誤を繰り返しながら、子どもたちが笑顔になれるように、参加して下さる方が少しでもほっとできるようにと努めて参りました。全力で向き合う中で子どもたちが笑顔になってくれたり、心が通い合うことを感じました。

学生さんの参加の時にも温かく見守り、ご協力下さり、誠にありがとうございます。子どもたち、保護者の皆さんから多くのことを学ばせて頂きました。

4月から幼稚園入園やお引越し等新しい生活をされる方がいらっしゃいます。幼稚園に入園される皆さん、おめでとうございます。

またぜひ遊びに来て下さいね。

来年度も沢山の皆さんにご参加頂けることを願っています。

どうぞよろしくお願い致します。

富田 祐香

### 今後の予定

1月・・・7日(金)・12日(水)・14(金)  
21日(金)・28日(金)

2月、3月はお休みです。

4月以降の予定は、HPでご確認下さい。



桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町3-6

☎ 024-534-7137 (代表)